

議会報告会（防災研修会）報告書

開催日時	令和6年11月16日（土） 14時00分～16時00分		
開催場所	荘内公民館 2階 多目的ホール		
出席議員	議長 氏家 勉 赤松 通博 河崎 美都 小崎 敏嗣 福本 崇 牧野 明 村上 光江	副議長 山本 育子 宇野 俊市 久保本慎一 斎藤 啓二 藤原 仁子 松本 岳史 森本 宏子	大月 博光 小泉 宗弘 高原 良一 細川 健一 三宅 宅三
参加人数	24人		
実施内容	<p>議会報告会（防災研修会）</p> <p>(1) 開 会： 司会者 松本 岳史 議会運営委員会副委員長</p> <p>(2) 開会挨拶： 氏家 勉 議長</p> <p>(3) 出席者紹介： 上記出席議員順に紹介</p> <p>(4) 留意事項： 資料の配布もれ、質疑時、アンケート記入、携帯電話等の留意事項を確認</p> <p>(5) 議会報告： 大月 博光 議会運営委員会委員長 報告内容： 玉野市議会BCP（業務継続計画）について 説明項目 1. BCPとは (パワーポイント4ページ分) 2. 玉野市議会BCPの構成 (パワーポイント2ページ分) 3. 玉野市議会BCPの概要 (パワーポイント13ページ分) 会場で投影したパワーポイント資料および配布資料に基づき説明</p> <p>(6) 講 演： 立木 茂雄 同志社大学社会学部教授 講演内容： 誰一人取り残さない防災のために ～令和版個別避難計画の作成に向けて～ 1. 高齢者、障がい者と東日本大震災 2. 防災の基本的な考え方 3. 誰一人取り残されないために ・当事者力を高める ・当事者と地域をつなぐ ・合理的配慮の提供 4. 真に支援が必要な方は行政主導・専門職参画のもと地域と協働 パワーポイント54ページ分の資料に基づきテレビ映像も取り入れながら説明</p>		

<p>主な意見・要望等 (回答の概要)</p>	<p>(7) 質疑応答： ◎質問／市民（10代女性）</p> <p>宮城県石巻市八幡町防災ネットワークの対応について、17名の避難行動要支援者の半数以上の方が助けられたとのことであるが、助けられなかった方についてはネットワークが上手く機能しなかったということか。</p> <p>◆回答／立木</p> <p>結果的に死亡者1名については、支援に駆けつけた支援者と逃げている最中に津波に巻き込まれて死亡。隣人（共助）による援護の2名については、ネットワークで登録していた方ではない方々が支援して避難。家族の自助については、災害発生時に家族が居合わせており、その家族と一緒に避難。制度による公助については、災害発生時に特別養護老人ホームの施設に入所しておりその施設の方々によって避難。</p> <p>災害発生時に支援者が要支援者のすぐ近くにいるとも限らないし、一概にネットワークが機能しなかったということではない。</p> <p>◆質疑応答に回答する形でまとめ／立木</p> <p>個別避難計画では多くの自治体は内閣府のお手本をそのまま活用し要支援者に支援者2名を付けるとしているが、向こう三軒両隣みんなと一緒に逃げるとする方が遥かに合理的である。</p> <p>しかしながら、2005年3月のガイドライン作成時、個人情報保護について、個人情報活用派よりも保護派による個人情報については絶対に守る必要があるとの主張が強く、支援者はとりえず2名とし個人情報は広まらないようにしていこうとなった。</p> <p>今後は、個人情報の活用についてケアマネージャーや相談支援員というプロが計画作りに関わることにより、要支援者の医療機関でのカルテの情報などの共有も可能になり、同意さえあれば個人情報が活用可能。そのようなプロの方々が地域の取り組みに関わり、しかも仕事としてやってくれるというのが令和の取り組みの肝である。</p> <p>(8) 閉会挨拶： 山本 育子 副議長</p> <p>(9) 閉 会： 司会者 松本 岳史 議会運営委員会副委員長 アンケート記入を依頼、回収し散会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----------------------------	--

令和6年度 議会報告会(防災研修会) アンケート結果

	荘内公民館
参加者数	24
アンケート回答者数	21
(回答率)	87.5

問1 あなたの性別と年齢を教えてください。

性別	男	女	その他	未回答	計
	12	9	0	0	21

年齢	人数	割合
20歳代未満	1	4.8%
20歳代	0	0.0%
30歳代	0	0.0%
40歳代	2	9.5%
50歳代	2	9.5%
60歳代	2	9.5%
70歳代	13	61.9%
80歳代以上	1	4.8%
合計	21	100.0%

問2 あなたのお住まいの地区は？

	人数	割合
田井	2	9.5%
築港・宇野	2	9.5%
玉・奥玉	1	4.8%
玉原	3	14.3%
和田	3	14.3%
日比地区	0	0.0%
荘内地区	6	28.6%
八浜地区	0	0.0%
山田地区	2	9.5%
東兎地区	1	4.8%
市内のみ記載	0	0.0%
(市内小計)	20	95.2%
市外	1	4.8%
未回答	0	0.0%
合計	21	100.0%

問3 今回ご参加されたきっかけは？(複数回答可)

議会だより	5
広報たまの	13
ホームページ	1
チラシ	3
議員から聞いた	1
知人の誘い	4
その他	1*

*玉野市協働推進課よりの案内

問4 今回の内容についてお伺いいたします。

	人数	割合
分かりやすかった	11	52.4%
分かりにくかった	1	4.8%
どちらともいえない	4	19.0%
未回答	5	23.8%
合計	21	100.0%

問5 過去に議会報告会に参加されたことがありますか？

	人数	割合
参加した	9	42.9%
参加していない	8	38.1%
未回答	4	19.0%
合計	21	100.0%

問6 今後の参加について、どのようにお考えですか？

	人数	割合
参加したい	11	52.4%
参加したくない	2	9.5%
どちらともいえない	8	38.1%
未回答	0	0.0%
合計	21	100.0%

	理由(記載分のみ 原則原文のまま)
参加したい	市の話だけでは、自分を遠ざけてしまいそうになりますが、講演もセットだと、興味の幅によりひっかかりやすかったです。 この度の防災研修とのコラボはよかったと思う 市議会での活動内容について知ることは、市民としての義務と思うから。 書面(広報たまの等)ではわかりかねることもあったので機会があれば市政の動きが感じられると思いました。 講演会には積極的に参加したい。防災対応について詳しく知りたい。
参加したくない	印刷物だけで良い位の講師でした。
どちらともいえない	結論有りきの討議はダメ コミュニティ協議会との関わり次第で変わるため。コミュニティ協議会との関わりがなくなれば、たぶん参加しないと思われる。 その日の予定によって

問7 現在の市議会をどのように評価しますか？

	人数	割合
評価する	5	23.8%
どちらかといえば評価する	7	33.3%
どちらかといえば評価しない	4	19.0%
評価しない	2	9.5%
未回答	3	14.3%
合計	21	100.0%

問8 議会の情報を何から得ていますか？(複数回答可)

議会だより	17
議場・委員会の傍聴	2
議会ホームページ	3
ケーブルTV	4
議員及び議員のホームページ	1
その他	3*

*その他の内容	家庭
	議員、議会は中立立場で超党派で討議のこと
	広報たまの

問9 市民の意見や声が、市政や市議会に反映されていると思いますか？

	人数	割合
思う	3	14.3%
どちらかといえば思う	8	38.1%
どちらかといえば思わない	5	23.8%
思わない	3	14.3%
未回答	2	9.5%
合計	21	100.0%

問10 今後の議会報告会の内容、運営、また市政全般や市議会に対する、ご意見等がございましたら、ご記入ください。(原則原文のまま)

意見
玉野市にフォーカスした話、というより、どこの市でも必要になる広いことを説明されているように感じました。広い対策ももちろん頼もしいですが、市独自のものがみえると、より、頼りになる、安心できる議会の印象になると思いました。
行政、議会、議員の質悪し、玉野は他市からバカにされている。(全部とは言ってないです)年間2~3回以上。今後もフリートークでの市民意見交換の場を設けること。(各条例にも書かれている。条例違反ですよ)
フリートークの市民意見交換の場を設けること。(年間2回必要)そして十分のタイムをとること。
本日の内容は全国レベルで成功例だけで玉野市の事例はどうなっているのか聞きたかった。
雨だれ石をうがっ
第51(1)7③で、災害が議員の市内不在時に発生した場合についても考りよしているのは大変良い
地区選出の議員さんがいらっしゃるけど、今までは何の報告もなかったもので、あまり現状と計画を知ることができませんでした。今期近くに議員さんがいらっしゃるので、市政・市議会に関心が持てますし、ひいては地区民に対しても防災の関点から情報交換ができればと思います。
講師が説明するスライドが何を書いているのかわからない。図・字が小さくて(1ページ以降も)※印刷物があった。大学の先生らしく、重要な事もそうでない事も同じトーンで説明していた。市会議員は印刷物は無く、皆頭が良い人ばかりか？(頭の中で全て分るのか?)
○直近の能登災害での教訓は？≡児島半島 ○災害発生時~3H後の市民生活の在るべき姿は？ 6H后 9H后 ex)KTB48 玉野のインフラか？ 現実性↔実行性
災害が起きた時の議員の役割は良く解ったが、その前に災害が起きない各種行動に力を入れてほしい。それが防災につながるのではないか！？例えばガケ下に住む住民達にガケの補強をすとか海の近くの人達には防波堤を整備すとか。山の整備をする←持ち主がわからない…防災に力を入れてほしい。